

表 2021年の独立記念集会演説(ナショナルデー・ラリー)の主なポイント

1. 新型コロナ禍に伴う経済的なサバイバルから、長期的成長へ	ビジネスハブとしての地位を維持し、外国投資を誘致し、地場企業と起業家の育成を促進へ
2. 低所得労働者への支援拡充	低所得労働者向け所得補助「ワークフェア所得補助スキーム」の年間予算規模を現行の8億5,000万SDollarから、2年後に11億SDollarに増額、支給対象年齢を35歳以上から30歳以上へと引き下げ
	スキル向上と共に賃金を引き上げる累進賃金モデルを小売りや飲食など導入分野、職種を拡大
	累進賃金モデルを導入した企業に「累進賃金マーク」を認証。政府は同マーク企業のみから調達へ
	外国人を雇用する企業は、雇用する全ての国民の給与を地元適正給与(LQS、現行1,400SDollar)以上に
3. 外国人労働者と国民との雇用機会均等	人材省、フードデリバリーなどに携わる運転手の社会保障について人材省が検討へ
	幹部・専門職向け就労査証「エンプロイメント・パス」と中技能向け「Sパス」の発給基準、今後も段階的に引き上げへ
4. 民族・宗教間の調和	公平で革新的な雇用慣行のための政労使連合(TAFEP)のガイドラインを法制化へ
	異なる民族間の調和を図るため、新法「民族調和維持法」を導入へ 11月から公立病院で働くイスラム系看護婦の頭巾「トウドウン」着用を許可へ

(出所) 首相府、リー・シェンロン首相2021年8月29日独立記念集会演説を基にジェトロ作成